

株主のみなさまへ

第25期報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

株式会社トランスジェニック

証券コード 2342



一人ひとりの健康と豊かな暮らしの実現をめざして



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、第25期の事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。
当社は、「未来に資するとともに、世界の人々の健康と豊かな暮らしの実現に貢献する」ことを目指しております。

当事業年度におきましては、昨年1月1日に実行した(株)ジェネティックラボの全株式譲渡により獲得した経営資源(資金)を、当社の主力事業である創薬支援のコア事業であるCRO事業、及び短期間での実績を獲得してきた投資・コンサルティング事業に迅速かつ集中的に投資し、事業成長を加速させることに注力して参りました。

この結果、当事業年度の業績について、売上高は表面的には減収となりましたが、(株)ジェネティックラボの全株式売却による影響を除けば増収を達成いたしました。しかしながら、利益面については、創薬支援事業及び投資・コンサルティング事業、両事業ともに大幅な減益となりました。また、創薬支援事業においては、抜本的な経営効率の改善を図るべく、北海道恵庭市で実施していた非臨床試験受託事業(以下、非臨床事業)について、静岡県磐田市の研究所に移管・集約することを意思決定し、事業再編損を計上いたしました。

以上のとおり、当事業年度は、次年度以降の業績回復のための抜本的な施策への投資に伴い大幅な計画未達となりました。この結果を真摯に受け止め、当事業年度において認識した複数の課題に対しては迅速に対処する方針であるとともに、創薬支援事業においては、今回意思決定した事業再編の効果を早期に実現し、強固な利益体質を構築すると同時に引き続き事業拡大に取り組む方針です。そして、新事業年度において、グループ一丸となって結果を出す所存です。

株主の皆様におかれましては、当社の取り組みにご理解をいただき、なお、一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

2023年6月
代表取締役社長 福永健司

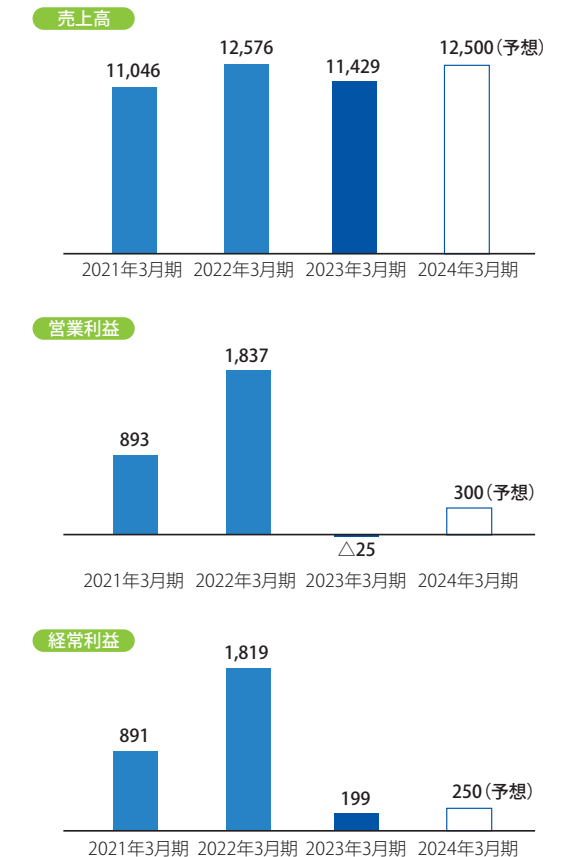
当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症との共存により回復の動きも見える一方で、エネルギー価格高騰や円相場の変動等の影響を受け先行きが不透明な状況が続きました。

このような環境の中、創薬支援事業につきましては、診断解析事業を行っていた(株)ジェネティックラボの全株式を2022年1月に譲渡したことにより売上高及び営業利益が減少いたしました。また、非臨床試験の主力である(株)安評センター(以下、「安評センター」)において、受託試験数が増加するとともに、その規模及び実施期間がより大型化・長期化し、試験完了時期が来期以降となる試験が増加したことで当期完了予定の試験が想定より少なくなりました。一方で、(株)新薬リサーチセンター(以下、「新薬リサーチセンター」)の中央研究所は、受託可能な試験の種類や規模の拡大に限界があり、エネルギー価格の高騰で老朽化した施設の維持・稼働コストが増加傾向にあることから、新薬リサーチセンターの非臨床事業については、受託試験の実施状況を考慮しながら、施設の拡張が可能な安評センターへ従事する人員の再配置を進め、集約を行うことを決定いたしました。

投資・コンサルティング事業につきましても、前期にグループに加入した子会社の貢献に加え、一部の既存子会社の営業活動の成果で増収となったものの、円安の進行や物流コストの増加で、輸入主体の子会社は利益率が低下いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は11,429百万円(前期比9.1%減)、営業損益は25百万円の損失(前期は1,837百万円の利益)となりました。経常利益につきましては、営業外収益395百万円を計上した一方、買収関連費用等の営業外費用170百万円を計上した結果、199百万円(前期比89.0%減)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、固定資産売却益等の特別利益41百万円を計上した一方、非臨床事業の集約に伴う事業再編損283百万円、減損損失239百万円等の特別損失572百万円を計上したほか、「法人税、住民税及び事業税」21百万円、法人税等調整額96百万円及び非支配株主に帰属する純損失30百万円を計上した結果、409百万円の損失(前期は、1,876百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

◆第25期連結累計期間の業績 単位:百万円



第25期定時株主総会 決議のお知らせ

拝啓 平素は格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

当第25期定時株主総会におきまして、右記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

●報告事項

- 第25期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記事業報告、連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。
- 第25期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)計算書類の内容報告の件
本件は、上記計算書類の内容を報告いたしました。

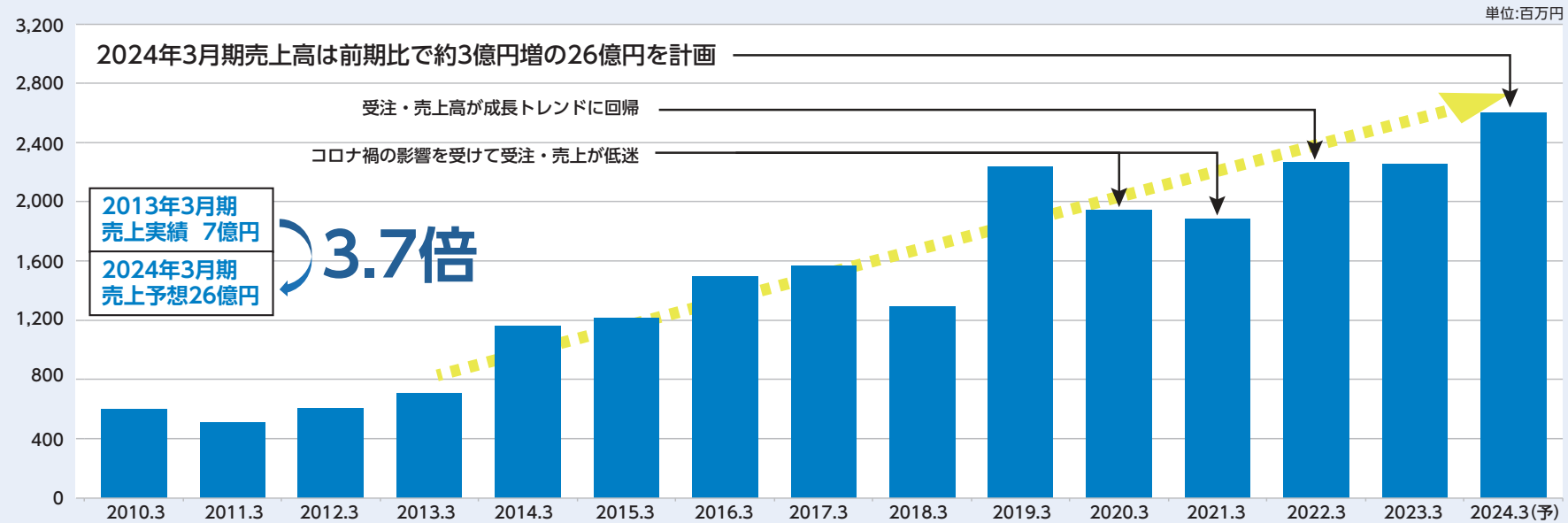
●決議事項

- 第1号議案 剰余金の配当の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案 取締役6名選任の件
本件は、原案どおり承認可決されました。

2023年3月期 売上高2,253百万円 営業利益20百万円

■創薬支援事業売上高の推移及び来期見通し

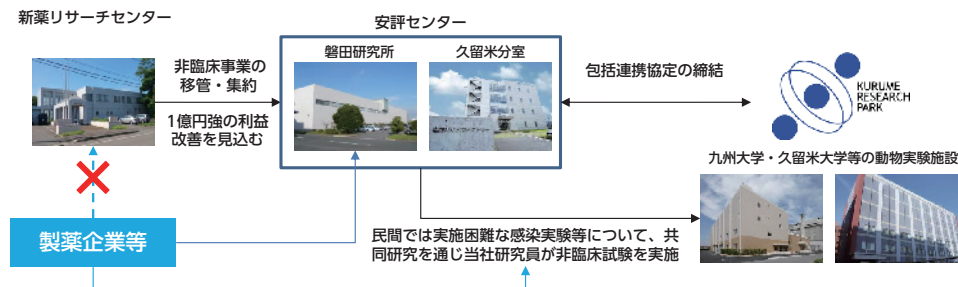
売上高は4倍弱に成長
今後もトレンドを維持



※左記グラフについて、2022年1月に売却した診断解析事業については売上高の推移から除外しています。

■創薬支援事業の新たな取り組み

項目	内容・目的	効果
◆久留米分室の設置&久留米リサーチパーク (KRP) との包括連携協定の締結 ◆非臨床事業の再編		
▶久留米分室の設置	▶創薬モダリティの進展に対応した分析機能の強化	▶安評センター受注能力のボトルネックとなっている分析機能強化により、受注能力を更に拡大
▶KRPとの包括連携協定	▶地域バイオコミュニティ発展への貢献及びバイオコミュニティ参画企業からの創薬支援業務の獲得	▶公的研究機関施設活用を通じ、設備投資負担を軽減しつつ受注能力を拡大
▶非臨床事業の再編	▶限られた経営資源（研究員・施設）を集約することで、非臨床事業の運営効率性を抜本的に改善	▶新薬リサーチセンター中央研究所で実施していた非臨床事業を安評センター研究所へ移管・集約することで、設備費等の削減を通じ、年間1億円強の利益改善を見込む

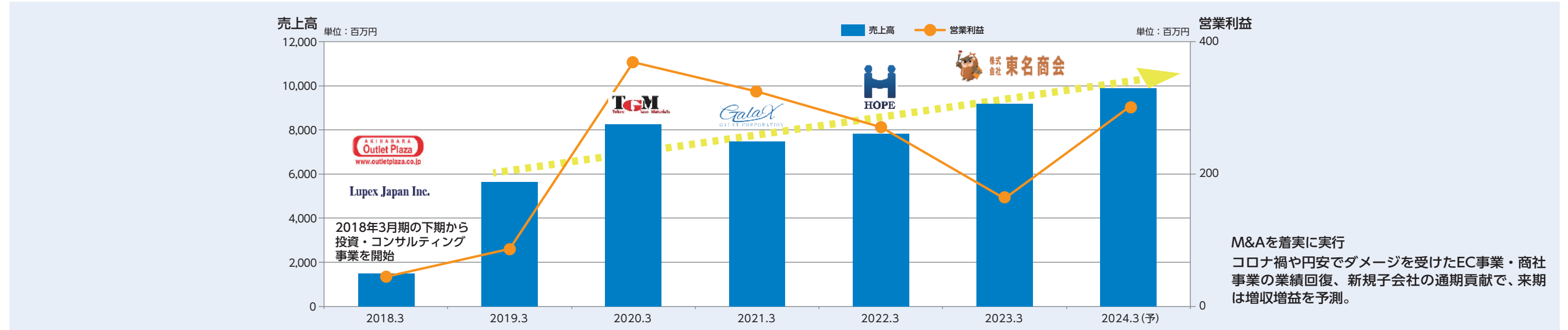


■創薬支援事業主要トピックス

2022年 10月	(株)安評センター	アミロイドーシス治療法開発に向けたTTRエクソンヒト化マウス販売準備開始
	(株)安評センター	株式会社MZTとの業務提携契約締結
11月	(株)安評センター	アンジェス株式会社との共同研究開発契約締結
12月	(株)安評センター	国立大学法人東京大学とのACE2エクソンヒト化マウスを用いた受託研究契約締結
	(株)安評センター	国立大学法人三重大学との共同研究契約締結
2023年 1月	(株)安評センター	スペインBiobide社との委託に関する基本契約締結
	(株)トランスジェニック	一般社団法人福岡疾病予防管理センター (F-CDC) との包括業務提携契約の締結及びF-CDCへの基金拠出
	(株)安評センター	久留米モダリティ分析センター (仮称) 開設
2月	(株)トランスジェニック	株式会社MASCの全株式取得 (子会社化)
3月	(株)トランスジェニック	株式会社久留米リサーチ・パークとの包括連携協定の締結

2023年3月期 売上高9,181百万円 営業利益163百万円

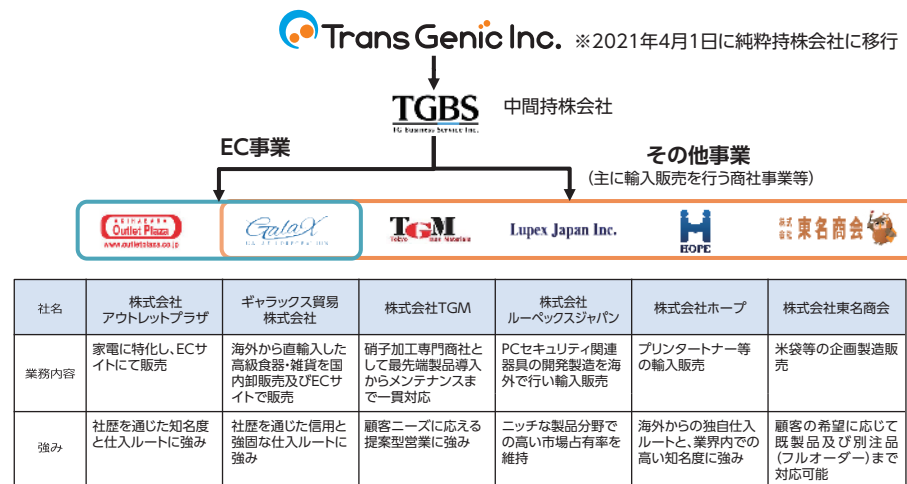
■投資・コンサルティング事業業績推移及び来期見通し



M&Aを着実に実行
コロナ禍や円安でダメージを受けたEC事業・商社事業の業績回復、新規子会社の通期貢献で、来期は増収増益を予測。

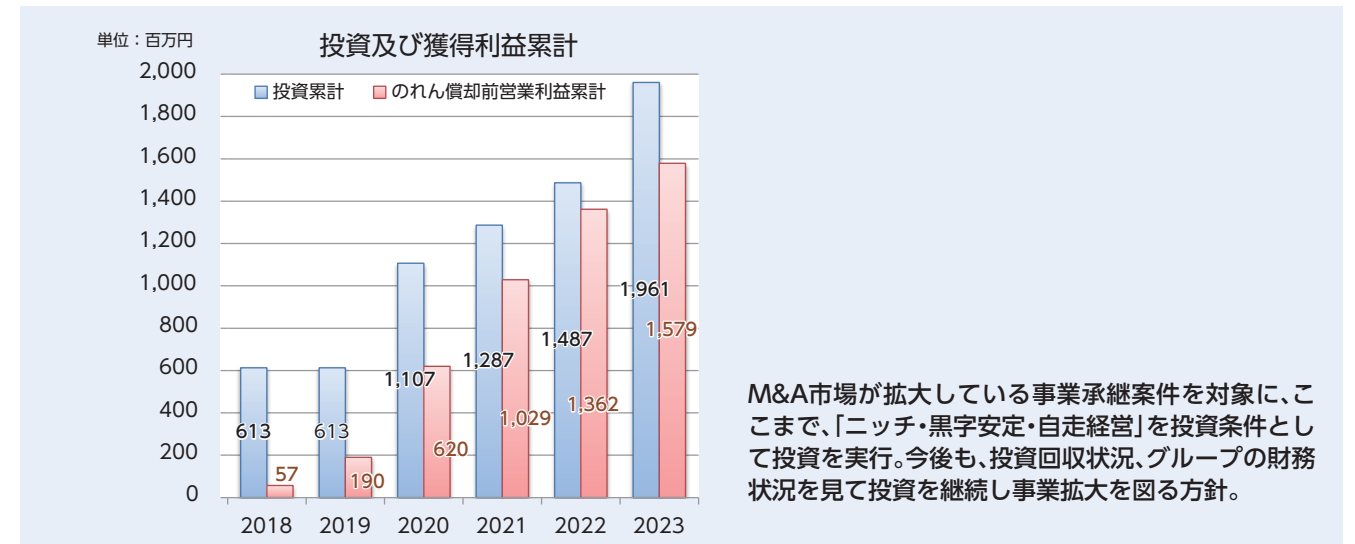
■投資・コンサルティング事業の投資先概要

当社グループは、中間持株会社による投資・コンサルティングを通じて、EC事業や輸出入の商社事業など、その他の事業を展開している6社の主要企業に投資して構成。



※2023年2月に株式会社キツキの全株式を譲渡

■投資及び獲得利益累計



M&A市場が拡大している事業承継案件を対象に、ここまで、「ニッチ・黒字安定・自走経営」を投資条件として投資を実行。今後も、投資回収状況、グループの財務状況を見て投資を継続し事業拡大を図る方針。

会社概要 2023年3月31日現在

会社名	株式会社トランスジェニック
設立	1998年4月
資本金	50百万円
従業員数	6名(単体) 236名(連結)
事業所	
本社	福岡県福岡市中央区天神二丁目3番36号
東京オフィス	東京都千代田区有楽町一丁目7番1号

役員

代表取締役社長	福永 健司	常勤監査役	友永 良二
取締役	北島 俊一	監査役	佐藤 貴夫
取締役	船橋 泰	監査役	本坊 正文
取締役	渡部 一夫		
取締役	山村 研一		
社外取締役	清藤 勉		
社外取締役	斎藤 穂高		

株式の状況 2023年3月31日現在

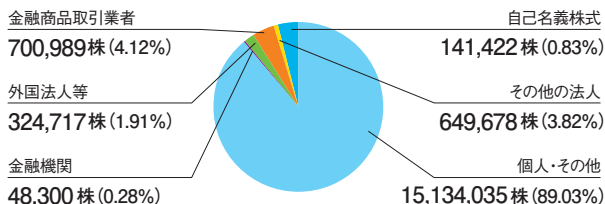
発行可能株式総数	43,630,100株
発行済株式の総数	16,999,141株
株主数	12,707名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社SBI証券	364,600	2.16
藤井 正樹	173,000	1.02
株式会社ムトウ	160,200	0.95
福永 健司	154,500	0.91
株式会社リムジンインタナショナル	152,900	0.90
原田 育生	150,000	0.88
水越 敦	136,900	0.81
山崎 学	120,700	0.71
J.P.Morgan Securities plc	119,600	0.70
山作 政之	115,000	0.68

(注)持株比率は自己株式(141,422株)を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



株主メモ

証券コード	2342
上場市場	東京証券取引所 グロース市場
上場年月日	2002年12月10日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)

※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

IRのお知らせ

最新トピックスやホームページの更新情報などを電子メールでお知らせしています。ご登録は当社ホームページにて受け付けています。

<https://www.transgenic.co.jp/>



当社のIR活動についてご意見・ご感想をお聞かせください。
下記アドレスへのご連絡をお待ちしております

ir@transgenic.co.jp